

【 調 査 の 概 要 】

インフルエンザ罹患後の異常行動等による小児の死亡例が報道されるなど、重篤な精神神経症状の発現が社会的関心を集めています。

この調査では、18歳未満のインフルエンザ患者における臨床症状発現の時間経過を精密に把握し、患者特性とともに、治療薬剤（解熱薬、抗インフルエンザウィルス薬、抗菌薬等）の使用との厳密な時間関係を検討することを目的としています。

今回は、以下の2つの調査の実施をお願いいたします。

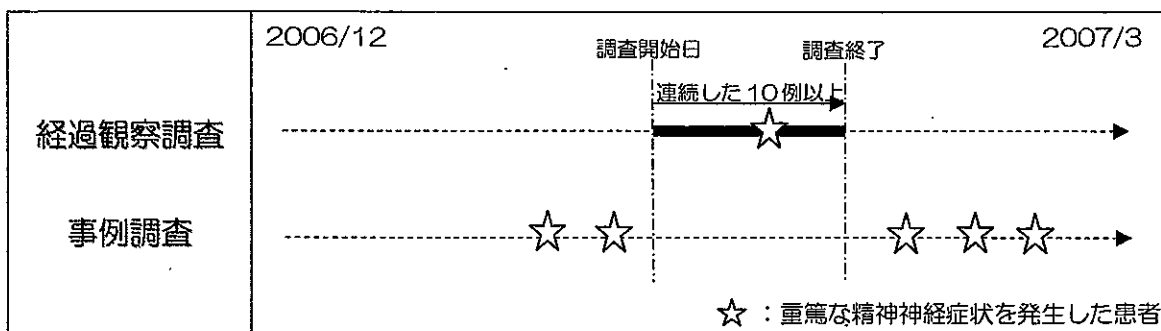
1. 経過観察調査（白の用紙の調査票）

インフルエンザに罹患した18歳未満（高校生以下）の患者における、一般的な経過の実態を把握することを目指しています。先生がインフルエンザ感染を最初に確認した患者さんについて、特定の日から連続する10～20名についての調査をお願いします。

インフルエンザが流行している期間の中で、特定の日（参加医師が定めた調査開始日）を先生ご自身でお決めいただきまして、調査を開始してください。

2. 事例調査（水色の用紙の調査票）

インフルエンザ罹患後の、重篤な精神神経症状（意識障害、けいれん、異常行動など）の情報を収集することを目指しています。重篤な精神神経症状が発現する患者さんは極めて少ないと思われますので、2006/2007年シーズンに該当する事例を診察された場合には全てご報告ください。なお、上記の「経過観察調査」でご報告いただきました患者さんについては、「事例調査」の必要はありません。



※ 調査の詳細につきましては、下記の Web サイトの研究実施計画書をご覧ください。

また、平成17年度研究報告書も、あわせてご覧いただけます。

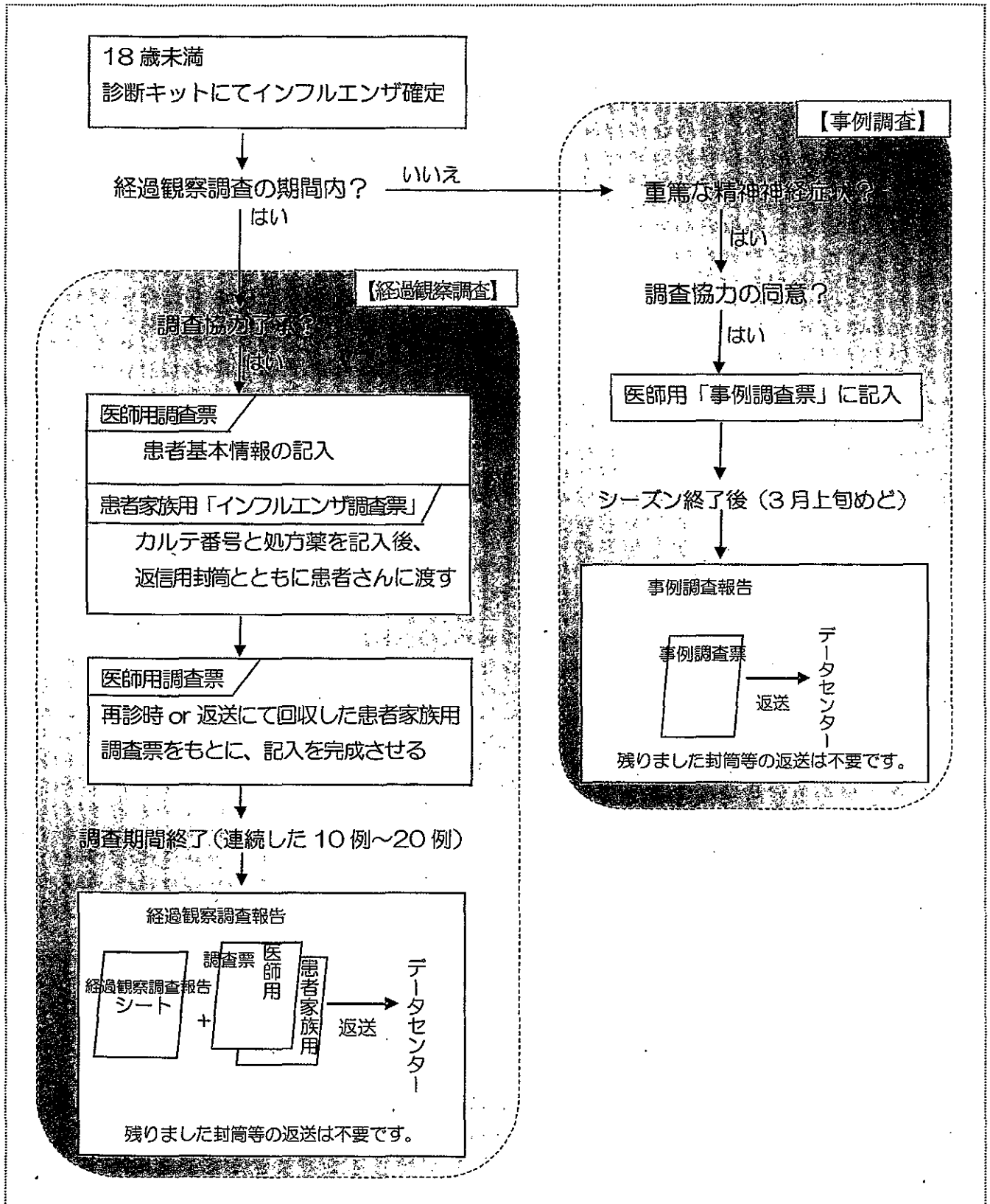
<http://www.ism.ac.jp/risk/contents/medicine/flu-epi.html>

また、医師用の経過観察調査票および事例調査票につきましては、上記 Web サイトから調査票 Excel ファイルをダウンロードいただきまして、入力後にメール添付でお送りいただくことも可能です。上記の Web サイトをご参照ください。

調査の流れ

☆ 経過観察調査開始日を決める

——（インフルエンザ患者が増えてきたと思われる都合のよい日）



データセンターからのお知らせ

「インフルエンザ随伴症状の発現状況に関する調査研究」データセンター

統計数理研究所・藤田研究室内

〒106-8569 東京都港区南麻布4-6-7

FAX: 03(5421)8775

E-mail: flu-epi@ism.ac.jp

- ◇ 調査実施について不明な点につきましては、EメールかFAXにて、データセンターにお問い合わせください。
- ◇ 特定の日から連続する18歳未満の患者さんにつきまして、20名以上の調査が可能な場合には、EメールかFAXにて、データセンターにお申込みください。
 なお、調査票を下記のWebサイトからダウンロードして、ご使用いただきましても結構です。

<http://www.ism.ac.jp/risk/contents/medicine/flu-epi.html>

調査票の追加送付の申込書（FAX用）

平成 19 年 月 日

送り先と追加部数をご記入ください。

ご所属	
ご住所	〒
ご芳名	
追加部数	部

FAX番号 03 (5421) 8775

インフルエンザに伴う臨床症状の発現状況に関する調査

経過観察調査報告シート（表紙）

- ※ 先生がインフルエンザ感染を最初に確認した18歳未満（高校生以下）の患者さんについて、調査をお願いいたします。
- ※ ご協力いただきました各対象者についての医師用経過観察調査票及び患者家族用調査票とともに、この用紙のご返送をお願いいたします。

施設名 住所	〒 _____
科名	
医師名	

【調査概況】

経過観察調査開始日	平成 19 年 月 日
経過観察調査終了日	平成 19 年 月 日
上記期間内 18 歳未満 インフルエンザ患者数	名

【送付内容】

経過観察 調査票	例分	医師調査票	例
		患者家族調査票	例

